



いばらきオレンジかふえ 「新型コロナウイルス」に負けるな!

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、多くの介護・医療の現場が経験したことの無い対応を考える機会になりました。

茨木市内にあるいばらきオレンジかふえ（認知症カフェ）も新型コロナウイルス感染拡大に伴い、活動の自粛を行いました。

「活動が減って足腰大丈夫かな」「気持ちいがふさがっていないかな」と、気がかりなことがたくさんありました。

いばらきオレンジかふえのスタッフの方々の意欲が途切れないように、近況を伺ったり、これからの感染予防対策の検討を行ったりして再開に向けた準備を行ってきました。

令和2年5月に緊急事態宣言が解除され、私たちの日常もぼちぼち動き始めたころ、待ちに待ったかふえ再開の日、「楽しい」とい言



葉以外浮かばない」「会えて嬉しい!」「急いで来たわー」と再会を喜び、「マスクは絶対着用」と呼びかけるスタッフにも笑顔が絶えず、みなさんでクイズや体操を行いました。いばらきオレンジかふえはこれからも地域のやさしい居場所として躍進し、憩える場を広げていきたいと考えています。



オレンジ新聞



令和3(2021)年3月
発行
発行元：茨木市

認知症 **オレンジダイヤル**

ココロ 晴れる

☎ 0120-556-806

(医療法人恒昭会 藍野病院内)

受付時間 月～金曜日 午前9時～午後5時

(土日・祝日・年末年始12月29日～1月3日除く)

認知症地域支援推進員(医療系)が対応します。

メールフォームからも相談できます。



茨木市 認知症総合支援事業

検索



地域での認知症カフェの取り組み

ふらっとカフェ追大

茨木市では、地域に根差した認知症カフェを増やしていきたいと考えています。今回は、追手門学院大学での取り組みについてご紹介します。

令和2年11月11日(水)午後1時より、「ふらっとカフェ追大」を追手門学院大学総持寺キャンパスで開催しました。「ふらっとカフェ追大」は「認知症カフェ」です。

認知症があってもなくても、地域のみなさんに、自由な雰囲気なかでより良い時間を過ごしていただきたいと願い、このたび新しく始めました。地域創造学部の岩淵・草山ゼミが主催しています。

当日はお迎えした学生も教員も最初は慣れない案内や受付に右往左往しましたが、しだいにあちこちでおしゃべりの花が咲き、お客さんも学生も笑顔で交流を楽しんでいる様子でした。中には、実際に当事者の方からお話を聴くことができ、認知症についての印象が変わったという学生もいました。

今後も月1回のペースで開催していく予定です。学生も教員もこの地域の隣人のひとりとして、地域のみなさんとの交流を深めていけたらと考えています。おひとりでもお友だちとでも、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい！



学びを応援

あいの流[®] はつらつ長寿ダンス[®]

新型コロナウイルスの感染拡大により、外出する機会がだいぶ減ってしまいました。身体を動かす機会が減ると、体力が落ちたり気持ちがふさぎ込みやすくなったりします。「あいの流はつらつ長寿ダンス[®]」は、音楽に合わせて身体を動かすことにより楽しく無理なく続けられます。いつでもどこでも簡単に行うことができるので、こまめに身体を動かして体力を維持しましょう。

認知症サポーター養成講座

『認知症サポーター』は何か特別なことをする人ではありません。認知症の人やその家族のよい理解者となる人です。講座では、認知症の正しい理解と対応について、子どもから大人までどなたでも気軽に学ぶことができます。申し込み方法など詳細はホームページをご覧ください。みなさまのお申し込みをお待ちしています。



増やそう！サポーターの輪
認知症について学んでみませんか

厚生労働省では、「認知症サポーター・キャビン」を展開しています。茨木市では、認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る「認知症サポーター」を1人でも増やし、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

認知症サポーター養成講座の日程・内容等に関するご相談は、開催を希望される1か月前までお願いします。

「みんながやさしい街 いばら市」 認知症サポーター養成講座 対象者：10人以上の団体やグループ 開催日時：平日に1時間程度 場 所：会場(市内)の手配や準備、それらに係る費用は依頼者側の負担 内 容：認知症とは？ 認知症の人と接するときの心がまえ 認知症サポーターのできること 問い合わせ・申込先 茨木市認知症地域支援推進員 (社会福祉法人茨木市福祉会事務局受託) TEL 072-677-1717 FAX 072-677-9811 月一開催日 午前9時から午後5時 (土・日・祝日・年末年始 2/29-1/28を除く) ※本事業は、茨木市から委託を受けています。	受講者全員に オレンジリングを授与 事業所等に サポーターステッカーを授与
---	---



家の中でもできる体操が動画配信スタート！
市民公開講座でもおなじみの
あいの流 はつらつ長寿ダンス[®]

“認知症地域支援推進員からのご案内”
外出の機会が減ると、運動量が減り身体機能低下がおこります。こまめに身体を動かして体力を維持しましょう！

- ◆用意するのはタオルだけ！(なくてもOK)
- ◆座っても、立ってもできます！
- ◆空いた時間で簡単に！
- ◆節の運動に最適！その日が快適に過ごせます！
- ◆音楽はみなさまがよくご存知の「さくら」をアレンジ！

★視聴方法
認知症総合支援事業ホームページ内の「研修・講座・教室」に掲載しています！
茨木市認知症総合支援事業 事務局

※注意事項
・運動前には体調を確認しましょう。
・立て行なう場合は転倒しないよう、十分に注意しましょう。
・からだに痛みを感じた場合は、すぐに体操を中止しましょう。

問い合わせは、下記までお気軽にどうぞ！
受付時間 月曜日～土曜日の午前9時～午後5時
豊野内院 加藤医療連携室 TEL 072-621-1321
※本事業は茨木市より認知症地域支援・ケア協会の委託を受けて行っています

消防署での
認知症サポーター
養成講座の様子



認知症について考える

世界アルツハイマーデー及び 世界アルツハイマー月間

1994年「国際アルツハイマー病協会」は、世界保健機関と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症に関する正しい理解の促進などさまざまな取り組みを行っています。そこで、9月は茨木市でも庁舎で相談窓口の案内やスローガンである「みんながやさしい街いばらき」を広めるため懸垂幕の掲出を行っています。



地域での啓発活動

認知症を知ろう！

令和2年9月24日にイオンモール茨木で認知症の啓発イベントを開催しました。

今回は、感染症対策のため、認知症サポーター養成講座で使用する人形やいばらきオレンジかふえの写真、認知症に関する書籍など展示を中心に実施しました。

平日にも関わらず、さまざまな世代の方にご来場いただきました。認知症の人やご家族が安心して茨木市で暮らし続けられるように、温かい見守りや困っているときの声かけを自然とできる意識を広める取り組みを今後も行っていきます。



認知症になっても安心して暮らせる街づくり 徘徊模擬訓練

認知症の人が外出して自宅に帰れなくなった際に、地域住民が協力し、安全に帰宅及び事故を未然に防ぐための地域づくりの取り組みです。茨木市では、「認知症の人への対応方法がわからない」などの声を元に、地域包括支援センターが中心となり、平成29年度から実施されるようにな



参加者が対象者を捜索中



対象者に声をかけている様子



茨木童子見守りシールを確認している様子

りました。令和2年は、春日小学校区と西小学校区の地域で開催しました。探そう、困っている人を含図に、参加者は、どのように声をかけよう等不安を感じながらの捜索でしたが、対象者の発見と声をかける体験をとおして認知症の人への関わり方に自信がついたようでした。

(冊子)みんながやさしい街いばらき

～もの忘れが気になったら～

(冊子)みんながやさしい街いばらき～もの忘れが気になったら～は、「もしかして認知症?」と感じている方に読んでいただきたいと思っております。

認知症があっても自分らしく住み慣れた地域で暮らしていくためのヒントにしてみてください。認知症の診断をうけ、ご自宅で生活しているご本人やご家族にインタビューを行い、当事者のことばを掲載しています。商店会での関わりについても、アンケート等の聞き取りを通して、暮らしの場面でのような関わりがあるのかも掲載しています。この冊子は、今後認知症の人の声を取り入れながら更新していく予定です。ホームページに掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。認知症に対する不安が少しでも軽くなれば幸いです。



茨木市認知症総合支援事業

検索